

第3回さくらキャンパス活用検討委員会会議録

日 時 令和3年9月8日(水) 午後2時30分～午後4時20分

場 所 宇和島市役所 6階 602会議室

出席者 委員：8名(欠席者1名)、事務局：5名、傍聴者：なし

1. 開会

2. 議事

議事(1)「さくらキャンパス活用検討における現状整理について」

事務局	<p>それでは、これより「議事」に入ります。</p> <p>ここからは、当委員会の設置要綱第6条に基づき、坂本委員長に、議長として、議事の進行をお願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、私の方で議事進行をさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>議事に入ります前に、活用検討委員会の委員の変更についてご連絡させていただきます。</p> <p>委員会として宇和島金融協会へ委員をお願いし、宇和島金融協会の佐々木会長にこれまでご参加いただいておりますが、この度、協会の会長変更に伴い、紀井様が会長に就任されましたので、本日、協会の代表として委員会にご参加いただいております。</p> <p>委員の変更につきまして、特に要綱に定めはございませんが、要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めとございますので、この宇和島金融協会の委員変更につきまして、委員長として変更を認めたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
委員長	それでは、紀井委員におかれましては、初めてのご参加となりますので、ご挨拶をいただければと思います。よろしく願いいたします。
委員	(紀井委員挨拶)
委員長	<p>今回の議題は4項目となっており、そのうち議事(1)・(2)につきましては、主に事務局からの報告事項、議事(3)につきましては、事務局の報告を受けた後、利活用にかかる検討事項になるかと思えます。</p> <p>それでは、議事に入ります。まず、議事(1)「さくらキャンパス活用検討における現状整理について」事務局より説明を願います。</p>
事務局	議事(1)「さくらキャンパス活用検討における現状整理について」、長大において、さくらキャンパスにおける周辺施設等も含めた現状整理・分析を行っております。その内容について、長大より説明いたします。お手元に資料②をご用意ください。
長大	<p>利活用案の検討の前提となる観点として現状を整理いたしましたのでご説明します。</p> <p>資料1 ページ目はさくらキャンパスの施設の概要となります。建物は2棟あり、両方とも鉄筋コンクリート造となっていて、市街化調整区域に位置付けられています。</p>

2 ページ目から 4 ページ目では、さくらキャンパス内の図面と写真を載せております。1 階右側はレストランや事務所、左側は浴室や和室となっています。

3 ページ目の 2 階は、右が教室と大会議室、左側はすべて客室となっています。

4 ページ目の 3 階は、全室が客室となっています。

現地確認のまとめとしては、学校用地として用途変更しているものの、施設の機能としては元々の宿泊施設としての機能を有しています。また、厨房施設については長年使用されておらず、使用するには大幅な機材等の更新が必要となります。

水回りに関しても配管の老朽化の懸念があるほか、一部客室では、雨漏り等による補修が必要な箇所があります。

一方、3 階は宇和島市内が一望でき、大きなメリットと考えられます。

5 ページ目には施設年表をまとめております。もともとは保養センターとして開業しており、平成 20 年からさくらキャンパスとして開校、令和 2 年から休校となっています。

※ここで、学校法人創志学園が運営していました環太平洋大学短期大学部当時のランニングコストについて説明がありましたが、この部分は学校法人が運営していた際のコストのため、議事録としての公開は控えさせていただきます。

6 ページからは丸山公園の概要をまとめております。

市内で最も利用者の多い施設となっており、運動広場、陸上競技場、多目的グラウンド、テニスコート、野球場、弓道場などが集まっています。

利用者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大以前は年間約 10 万人でしたが、コロナ禍においても年間 7 万人と、若干減少したものの、年間を通じて利用がある状況です。

施設別の利用者数は図 5 のとおりであり、多目的グラウンド(昼間)、陸上競技場、南テニスコート(昼間)が上位 3 位となっています。

8 ページ目には、周辺環境をまとめています。宇和島地区の公共施設、避難所、駅、宿泊施設の分布状況をプロット図にまとめています。これを見ますと、駅周辺に宿泊施設が多数存在していますが、宿泊以外の機能との複合的な施設については、見受けられませんでした。

9 ページ目は施設のうち、避難所のみ抜き出してプロット図としたものです。避難所の種類は、対象施設が高台にあり緊急避難の場所としては現実的でないことから、指定避難所のみをまとめています。対象施設近隣では、闘牛場が指定避難場所とされており、

10 ページからは人口についてまとめています。こちらは平成 27 年の国勢調査結果を基に作成しております。総人口約 7 万 7 千人のうち、65 歳以上の老年人口が約 2 万 8 千人となっており、県全体の比率と比較して若干高くなっています。世帯構成では 1 人及び 2 人世帯が約 65%を占めており、2 人世帯が最も多くなっています。

また、65 歳以上の世帯員がいる世帯は約 55%と、県と比較して高い数値になっています。

11 ページの人口の増減推計は、国立社会保障・人口問題研究所の資料を用いています。これを見ますと、全国的な動向と同様に宇和島市では人口が減少傾向にあり、また、2035 年には老年人口(65 歳以上)が生産年齢人口(15~64 歳)を上回る予測となっています。

12 ページには市内の公共交通機関等をまとめています。市内には鉄道や路線バス、タクシー等の公共交通機関がありますが、対象施設には路線が通っておらず、タクシー以外の公共交通機関では移動することができない状況です。

各公共交通機関の概要は図のとおりとなっています。

14 ページには、現状整理を踏まえて SWOT 分析を用いて整理を行っております。まず、「強み」としては、「中心市街地に面しており、市街地側からも見ることができる象徴的な立地」「市内で最も利用者の多い丸山公園に隣接」「宿泊・温浴機能を有しており、活用が期待

できる」「高台に位置しているため、市街地を一望できる」となります。

次に「機会」としては、「観光客は県外客よりも県内客の方が多い」「農林水産業のまちとして発展」「食に関連した資源の魅力や認知度が高い」となります。

マイナス要因では、まず「弱み」として「高台にあるため、タクシーや自家用車以外でのアクセスが困難」「道路が狭く見通しが悪い箇所がある」「雨漏り等、施設の老朽化が懸念される」となります。

最後に「脅威」としては「少子高齢化・人口減少の進行から、サービスの限界がある」「感染症の世界的拡大による観光需要の落ち込み」「気象災害の増加」「南海トラフ巨大地震」があげられます。

現状の整理についてのご説明は、以上となります。

委員長 ありがとうございます。事務局からの説明が終わりましたが、ここで皆様方からのご意見を伺いたいと思います。何かご質問やご意見はございませんか。

委員 前回の会議で鑑定評価も実施するとの話がありましたが、どうなったのでしょうか。

事務局 現在、鑑定業務を事業者に委託しており、最終調整を行っている段階です。

委員長 よろしいでしょうか。

委員 わかりました。

委員長 他に質問等ございませんでしょうか。

委員 先ほど鑑定価格についての質問がありましたが、私も前回の委員会で現在調査中と説明があったと記憶しています。

また、今回の資料を受け取った際にも、まだ算定の途中との説明も受けました。

鑑定価格に対して活用方法が見合うかというのは、市が決定する部分だとは思いますが、前回の委員会では購入してマイナスになってはいけないという話もあったかと思います。

今回、答申を作成するにあたって、鑑定価格が不明な状態で、こういう風にしたらいいのではということを決めてよいのだろうかと思う部分もあるのですがいかがでしょうか。

委員長 鑑定価格は先ほど事務局から説明があったように、まだ算定中とのことですが。

ただ、実際は鑑定価格と活用方法を天秤に掛けるような議論はこの委員会では行わず、最終的な判断は市が行うことになると思います。

我々は当初説明があった、おおよその目安を参考に、活用方法を考えていくしかない、そのように進めていきたいと思いますが、事務局はそれでよろしいでしょうか。

事務局 鑑定価格は、現在最終的な数値が出ていない状況です。次回委員会では報告できるかと思えます。

ただ、鑑定価格はそれ以上の価格では購入しないという価格となります。

委員 確かに最初の説明でもそのように聞きました。

事務局 実際の購入価格は、鑑定価格が出た後の交渉によって決まってくるということになります。

委員長	<p>よろしいでしょうか。ご質問等あれば適宜していただければと思います。 また、最後にご質問いただいても結構でございます。 それでは、次の議題に移ります。</p>
-----	---

議事(2)「利活用類似事例の紹介について」

委員長	<p>議事(2)「利活用類似事例の紹介について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>前回の委員会における利活用の紹介内容が廃校事例を中心としたものであったため、さくらキャンパスに類似した宿泊施設ベース及びスポーツ施設に隣接する立地条件において検討を行った参考事例を紹介していただきたいというご意見をいただきましたので、再度、長大において、その内容に沿った利活用類似事例を調査いたしました。 その内容について、長大より説明いたします。お手元に資料③をご用意ください。</p>
長大	<p>資料③の類似事例について説明いたします。 前回は廃校活用をベースに事例を紹介しましたが、さくらキャンパスはもともと保養所であったということと、現地を確認した結果からも保養所をベースとした事例の方が適しているということから、今回3事例を紹介させていただきます。</p> <p>No.1は「KAReN HaMaNaKo かんざんじ荘」という施設です。2020年に一部開業、2021年に全面開業しています。 浜名湖大草山の山頂に位置しており、1962年に国民宿舎として開業後、2007年から市が民間へ委託し、2020年から新たな経営者がリノベーションして運営しています。 整備後の施設としては、宿泊、大浴場、ミーティングスペース等から成っています。 「ウェルネス」、健康をテーマとした体験型の施設となっており、ヨガ教室やサイクリングなどのソフト面の取り組みも充実しています。 この地域では観光資源は豊富ですが、若者が遊べる場所が少ないということから、若者が利用できる施設としており、全館にWi-Fiを完備し、リゾートワークやワーケーションも可能な施設となっています。 2ページ目には、施設の写真と、考察を明記しております。まず、大草山の上という高台に立地しており、さくらキャンパスと類似しています。 テーマ・ターゲットを明確にしつつ、リゾートワークができる環境を整備する等、多様な用途を持たせることで、周辺施設との差別化を図っています。 また、市の借地事業として実施しており、事業者は賃料を市へ支払う代わりに自由に運営を行っており、財政負担の軽減と地域の活性化が期待できる施設となっています。</p> <p>3ページのNo.2は「昭和の森 フォレストビレッジ」という施設です。千葉県千葉市に位置し、収容人数は80名、様々な広さの部屋があります。2014年から供用開始しています。 元々は公営のホテルとして1983年に開館しましたが、1988年から利用者が減少し、2014年に借地事業としてR.projectが運営しています。 整備後の概要としては、合宿施設にキャンプ場等が組み合わさった多目的施設となります。最大80名が宿泊可能なことから、様々な合宿で利用が可能です。 カフェについても、地元農家等が提供する食材を使用しているほか、スポーツアクティビティの体験教室も開催されています。 また、地元スタッフを積極的に雇用されています。 4ページ目は、内装等の写真と、平面図となっています。 5ページからは考察となります。</p>

	<p>この施設は、野球場やサッカー場等を有する総合公園の中にある施設となっており、公園と宿泊施設の相乗効果を生むように考えられています。</p> <p>また、合宿施設としての利用以外にも、ワーケーションやヨガ教室、日帰りでの和室のレンタル等も想定されています。</p> <p>先ほどの事例と同様に借地事業であり、財政負担の軽減とともに地域の活性化が期待できるものとなっています。</p> <p>6ページ目のNo.3は「アルピンスポーツパーク」という施設です。規模が大きく290名を収容可能となっており、2014年に供用を開始しています。</p> <p>元々は学校が所有していた施設で、その後、企業が運営していたスポーツ施設付き保養所となっていたものを、先ほどの事例と同じくR.projectが借り受けて運営しています。</p> <p>こちらは市の施設ではないというのが特徴となっています。</p> <p>整備後の施設概要としては、宿泊施設、キャンプ場、サッカーコート等で構成される複合施設で、メインはスポーツ合宿ですが、それ以外にも対応が可能となっています。</p> <p>7ページ目に施設内の写真と図面を載せています。</p> <p>考察としましては、元々が学校、企業の保養所として運営し、利用者が限られる施設だったものを、大型合宿施設として活用することで、新たな人の流れを生んでいる事例となります。</p> <p>また、合宿機能に特化しており、最大290人を受け入れ可能となっています。</p> <p>以上、保養所からの転用事例を3事例ご紹介いたしました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。事務局からの説明が終わりました。</p> <p>ここで皆様方からのご意見等を伺いたいと思います。何かご質問やご意見はございませんか。</p>
委員長	<p>保養所からの転用事例を調べていただきましたが、使用方法としてはやはり保養所、ワーケーションの機能も持たせてはいますが、保養所としての活用がメインになっているかと思えます。</p> <p>ただ、今のコロナ禍の状況もあり、なかなかこれまでの施設と同様の活用方法というのは、宇和島の場合、難しいのではないかと思う部分もあります。</p> <p>ご意見・ご質問等はありませんか。</p>
委員	<p>これ以外の使い道というのはないのでしょうか。</p> <p>それとも今回の事例が特に成功しているというようなものなのでしょうか。</p>
委員長	<p>恐らく、この程度の規模の転用事例となると、活用方法は、今回照会いただいた事例と同様なもの以外はないのではないかと思います。長大さん、いかがでしょうか。</p>
長大	<p>保養所をベースとした活用事例自体少なく、あったとしても、おっしゃられるように今回ご紹介したような宿泊施設でございました。</p>
委員長	<p>コロナ禍以前は宿泊・観光・地域住民の保養がメインでしたので、事例を探しても、恐らくこのようなものしか出てこないのではないかと思います。他に、ご意見はありますか。</p> <p>無いようでしたら、具体的な活用方法の検討に入っていきたいと思います。</p>

議事(3)「さくらキャンパス利活用の検討について」	
①「答申書(案)について」	
②「さくらキャンパス利活用における提案内容について」	
委員長	<p>それでは、議事(3)「さくらキャンパス利活用の検討について」に移ります。</p> <p>利活用の検討としてまず、事務局より①「答申書(案)について」及び②「さくらキャンパス利活用における提案内容について」説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事(3)の①「さくらキャンパス活用検討委員会答申書(案)について」ご報告をさせていただきます。資料④をご覧ください。</p> <p>最終的な活用案を委員会としてご検討いただくうえで、実際にどのような様式による流れで市長へ答申書として提出していくのかご確認いただくため、活用検討委員会における答申書(案)をご説明させていただきます。</p> <p>それでは、資料2ページをご確認ください。答申書は、委員長より市長へ、活用検討委員会設置要綱第2条に基づき答申を行います。</p> <p>冒頭に、本市においては、人口減少に歯止めがかからない厳しい状況が続いているため、多くの方々が宇和島へ来訪し、その魅力に触れることで移住にもつなげるといった取組を推進する必要があるといった現状を述べつつ、そのため、今回活用方法の検討を行った「さくらキャンパス」は、経済、人流といった観点からも宇和島市にとって大変有効なものになると期待し、委員会での活用案並びに意見・要望を以下のとおり付して答申とすることを明記しています。</p> <p>続いて、次ページの「1. 活用の提案について」に委員会の活用方法の提案を記載いたします。この後、委員会として単独利用・複合利用、そして複数提案等も含めて活用方法を協議していただきますが、その内容がここに活用案として提示する予定としております。</p> <p>続いて、4ページをお開き下さい。最後に、「2. 補足事項」として、意見・要望等を提示いたします。ここでは、施設の利用方法案以外、ご意見等を補足事項として記載いたします。</p> <p>これまでの委員の皆様によるご提案・ご意見の中で、この補足事項とすべき内容について、(1)から(4)にまとめておりますので、ご説明いたします。</p> <p>まず、(1)地域利用として、市民及び市内活動団体の利便性向上につながるよう努めること、(2)通信環境の整備として、施設の活用にあたってはWi-Fi環境等の整備を行うよう努めること、(3)運用として、市全体とした収益性、民間活力の利用、市内飲食店との連携や民業を圧迫しないことを念頭に置き事業を進めることなどを明記しております。最後に、(4)その他として、丸山公園再整備計画に対して、隣接する「さくらキャンパス」の総合的な活用と、運用後の追加工事等が発生しないよう慎重な計画策定に努め、個別事項として不足している施設の整備に伴う利用者の利便性向上、プロスポーツを誘致できる高規格施設の整備を検討することを添えて答申書といたします。</p> <p>なお、この資料④の答申書(案)につきましては、前回までの委員会の内容をもとに、素案として作成しているもので、今後、本日の委員会を含め委員の皆様からのご意見をもとに、内容の追加・修正等を行い、11月開催予定の第4回委員会で答申案をまとめ、その後、委員会として市長に答申する予定としております。</p> <p>答申書(案)に対する説明は以上です。</p>
事務局	<p>引き続き、「さくらキャンパス利活用における提案内容について」ご報告いたします。</p> <p>資料⑤をご確認ください。答申書案同様、これまでの委員会において委員の皆様からご提案のあった内容を5つの項目に分け一覧表にし、また、事務局において提案内容ごとに、交流人口の拡大、年間利用、丸山公園の関連、民間との住み分けの必要性、ランニング費用、他の行政施設の有無について、それぞれ検討するにあたって、議論の参考として、</p>

事務局の所感で○、△等を記載させていただいております。不明な点等がございましたら、ご質問をいただくとともに、また、資料の修正等が必要なものは変更を行いますので、ご指摘いただければと思います。

それでは、資料に沿ってご説明させていただきます。

まず、「1 宿泊施設」でございます。宿泊施設としては、丸山公園と連動したスポーツ合宿施設、現状を維持し利用する一般利用者の宿泊、そしてボランティアの方に対する宿泊施設としてのご提案がありました。宿泊施設については、いずれもホテルなどの民間のすみ分けが必要であるとの懸念事項がございます。

続いて、「2 癒しの空間」として、美術館が挙げられております。こちらは、市民等による活用方法の提案がもっとも多い項目で、旧市内には美術館がなく、ロケーション・景観などの立地条件もよく、美術愛好家等の誘客を促進できるのではないかとのご提案がございました。

続きまして、「3 交流施設・貸館」でございます。まず、(1)交流施設としては、外国人や世代間での交流施設としての利用、また、隣接する丸山公園に関連したスポーツ団体における交流施設、そして最後に、児童等の学習施設として生涯学習施設のご提案がございました。

資料2ページをご覧ください。続いて(2)貸館についてです。貸館としては、現在のコロナ禍による都市部から地方への人の動きを契機と捉え、移住を促進するものとして、サテライト・テレワークオフィスやワーケーション施設、そして、それ以外としてボランティアとしての貸館、披露宴会場としての利用などといったご提案がございました。

続きまして、「4 施設の一部利用」です。一部利用としては、浴場・キャンプ施設、市民相談窓口の設置のご提案がございました。

最後に、「5 災害施設」です。災害施設としては、高台という立地条件から、避難場所及び防災センターといったご提案となっております。

以上が第2回活用検討委員会を中心とした委員の皆様のご活用提案となります。

なお、参考項目として事務局が明記させていただいている表右側の「行政施設」に関する内容を補足説明させていただきます。

この「行政施設」の項目については、同様の他の行政施設の有無、そして、現在整備を検討しているものを記載させていただいております。

まず、資料1ページに戻っていただき、(1)の交流施設の②の世代交流施設についてですが、同様の施設として近隣に中央公民館のホリバタ、パフィオウわじま、そして④生涯学習施設の中の登校が難しい児童等の学習施設としては、今後、旧給食センター跡地に発達支援センター・子ども支援施設などの複合施設を整備する予定となっております。

資料2ページをご覧ください。(2)貸館の④会議室については、他の行政施設として、南予文化会館及びパフィオウわじまがあり、また、「4 一部利用」の(1)浴場については、旧市内ではございませんが、現在、地盤沈下及び施設・設備の老朽化等により長期休止している「津島やすらぎの里」の温泉施設について、再整備・運用に向けた検討が進められております。

最後に、「5 災害施設」の(2)防災センターですが、現在、防災センターにつきましては、宇和島消防庁舎の改築に併せて防災センターの合築を検討しております。

これらのご紹介させていただきました内容につきましては、近隣に類似する行政施設の存在及び整備予定があることを念頭に、さくらキャンパスの活用における検討をお願いできたらと思います。

ここで、さくらキャンパス利活用における提案内容について、委員会における検討の参考として、事前に長大においても分析を行っております。

その内容について、長大よりご説明いたします。

長大	<p>委員意見に対する懸念事項として当社でまとめました。何点かをピックアップして説明させていただきます。</p> <p>まず宿泊施設としては、スポーツなどの合宿では大人数での利用が考えられるため、現状の 21 部屋では足りず、収容人数を増やす改修が必要と思われます。</p> <p>また、宿泊施設は周辺に多く分布していますので、差別化を図るコンセプトが必要となります。</p> <p>ボランティア施設に関しては、日常的な利用が無いため、複合化が必要です。</p> <p>美術館としては、芸術家との連携が必須となりますが、連携がとれない場合、他の廃校活用事例として、市民作品の展示を行っている施設もございます。</p> <p>外国人交流施設については、宇和島市の外国人労働者数は現在 515 名であり、限定的な利用となります。</p> <p>世代間交流施設については、公共交通が無いことからアクセスできる世代が限定的になると考えられます。</p> <p>生涯学習施設では、近隣にパフィオうわじまがあります。</p> <p>サテライトオフィスについては、交通の便の悪さから、近隣住民が所属する企業に限定されるか、市外からの利用を想定する場合は移住支援や客室への滞在が必要です。</p> <p>ワーケーションは、労務管理等が難しく、導入している企業が少ない状況です。</p> <p>キャンプ場は敷地の確保が困難であり、また、グランピングは全国的に注目度が高く、施設がどんどん増えている状況で競合が多いため、付加価値が必要となります。</p> <p>相談窓口についても、公共交通がないことから公平なサービス提供が困難であります。</p> <p>避難場所については、闘牛場が指定避難所となっており、宿泊機能での連携が考えられます。</p> <p>防災センターに関しては、施設の大規模な改修が必要になると考えられます。</p>
事務局	事務局からの説明は以上です。
委員長	<p>ありがとうございました。事務局からの説明が終わりました。</p> <p>事務局より①「答申書(案)について」及び②「さくらキャンパス利活用における提案内容について」の説明がありましたが、ここで皆様方からのご意見等を伺いたいと思います。</p> <p>何かご質問やご意見はございませんか。</p>
委員長	<p>資料 4 の答申書(案)についてですが、確定したものではなく、裏面の補足事項の追加・削除も含めてこれから決めていくことになると思います。</p> <p>長大さんからの説明、事務局からの説明についてご質問はよろしいでしょうか。</p> <p>よろしければ、利活用の検討に移りたいと思います。</p>

<p>議事(3)「さくらキャンパス利活用の検討について」</p> <p>③「利活用の検討について」</p>	
委員長	<p>続いて③「利活用の検討について」に移りたいと思います。</p> <p>ここからは、委員内でこれまでの事務局からの報告を参考とし、利活用案に関する議論をお願いできればと思います。</p> <p>最終的に、事務局から説明のあった答申書を委員会として完成させる必要があります。そのため、委員会としてのさくらキャンパスの利活用案をどうするかを決定していきたいと思います。</p> <p>まず資料⑤をご確認ください。前回の委員会における委員の皆様の提案やアンケート結</p>

果を事務局としてまとめてくれています。

もし抜けている部分があればご意見いただければと思います。

資料④が答申案になりますが、この中に資料⑤にあるような内容を入れ込んでいくこととなります。

現在の施設の状況、厨房や温浴施設もありましたが、全体も含めてどのように活用すればいいか、ご意見をいただければと思います。

資料④にある単独利用型というのは、全体を保養地として、その一部をワーケーションとして使うこともあるかもしれませんが、一つの組織が全体を管理するというものです。

一方の複合利用型は、1階から3階までいろいろな機能を持たせていくというものになります。

また、提案方法についてですが、例えばアンケートでは美術館というご意見が多く、実際に集客力もあり、市民にとっても良いものだと思いますが、美術家の方に断られると実現できないという面もあります。

つまり、機能として施設のどこに何を入れるという配置まで考えていくことはできないと思いますので、建物全体を見て、中にどんな機能を入れるかということを検討していければと思います。ご意見いかがでしょうか。

委員 前回から美術館という意見は多いですが、市内では伊達博物館の建て替えもあります。博物館と美術館という違いはありますが、同系統の施設として隣接した方が良いのではと思うのですが、今から伊達博物館に付随させるといったことはできないのでしょうか。また、伊達博物館の建て替えの協議の際にはこういった話は出てこなかったのでしょうか。

委員 それは難しいと思います。博物館と美術館では根本的に違う部分もあり、協議でも出てはいませんでした。ただ、博物館に来た人が、美術館も見たいということで、市内を移動してもらおうというのは、交通機関の利用という面でもよいのではないかと思います。

委員 確かに交通機関の利用という面もありますが、なぜ近所に作らないのか、協議に出てこなかったのかなと疑問に思っていました。

委員長 その時点では美術館を作ってほしいという話がなかったためだと思います。もしあれば、構想に含まれていたかもしれませんが。

委員 美術館にしても、既存の施設に入れるというのは作者サイドとしてはどう思われるか、という気持ちはあります。

委員 私はこの委員会の話が来た時から、美術館にしたいという思いで参加しています。

委員長 美術館にしても、全体とするのか複合とするのか、また、芸術家の方の関係もありますがいかがですか。

委員 個人的には全体を美術館にしてもらいたいです。アンケートでは●●氏の名前が多かったですが、他にも芸術家の方はいらっしゃいます。また、アンケートの中の意見ではありますが、●●氏なら宇和島市のために積極的にやっていただけるというものもあります。

委員	<p>今までの内容を踏まえ、いろいろと考えましたが、なかなか思いつかず、美術館も良いと思いますが、集客は作った時点からスタートするため、最初はやはり人は来るとは思いますが、次の企画で目を引くものや国宝級のものが無いと、人は来なくなってしまうのではと思います。</p> <p>そうなると、例えば半分は●●氏の作品として、もう半分では集客のための企画に充てるとして、誰が毎月その企画を考えるのかということまで考えてしまって、なかなか自分の中で意見をまとめ切れなところではあります。</p> <p>また、美術館なら敷地外から道がわかるように、大々的にしていかないと、集客できないのではないかと考えます。</p> <p>一方で、複合施設にすると金銭面では、ランニング費用に対してトントンといったところだとは思いますが、なんとかなるとしても、施設がシンボリックなものにならない、ただ使っているだけということになってしまう気もします。</p> <p>また、今回提案としてまとめてもらった中について、民間と競合するものは外していかないと、民間が機能なくなってしまうのではと懸念に思うものもあります。</p>
委員長	<p>提案から外していく、提案に入れない方がいいという考え方もひとつです。</p> <p>資料⑤の内容から、例えば貸館はパフィオうわじまもあるし削除していく、といったことも考える必要はあるかと思えます。</p> <p>同時に、宇和島の活性化、人が集まる、お金が落ちる、関係人口を増やすには、この提案の中で何がいいのか、そういう視点の評価も資料に含まれていますが、この中のどの機能を盛り込むか考えていく必要があります。</p>
委員長	<p>まず、基本として単独利用か複合利用か、どちらがよいでしょうか。個人的には複合型でしか成り立たないのではとも思いますが。</p>
委員	<p>美術館にするなら単独利用が良いと思います。各自治体が人口増を目指して頑張っていると思いますが、日本全国で競争して宇和島に人を呼ぶとなると、特徴のある何かを作らないと難しいのではと思います。</p>
委員長	<p>その場合、運営を誰がどうするのかということで決まってくると思われます。</p>
委員	<p>それは、作ってからの話でよいのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>そうですね。補足に書くという方法もあります。書かなくてもよいとは思いますが、他にご意見いかがでしょうか。</p>
委員	<p>宇和島が良くなるためには、人が集まって活性化するのが一番だと思います。</p> <p>提案内容を事前に読んだ中では、それができるのは美術館しかないかと思われれます。</p> <p>スポーツ合宿や交流で宇和島に来るということは、正直無いのではと思います。</p> <p>美術館があるから宇和島に来て、そこから他の施設にも行く、つまり目玉となるものがあるからその場所に行くということです。</p> <p>県内で言えば道後温泉、エミフル、タオル美術館といったようなものですが、タオル美術館は複合施設となっています。</p>
委員	<p>宇和島でもスポーツ合宿の誘致活動を行う協議会が平成 18 年からあり、私も先進地視察に行きましたが、先進地はしっかりと施設の整備をしています。</p>

これから丸山公園をプロが呼べる施設にまでしていくというのなら別ですが、競うのは厳しいかと思います。

また、宿泊となると民業圧迫にも繋がります。

委員

複合的にしないことには成り立たないと思います。

美術館だったら伊達博物館の横、天赦園グラウンドの敷地内にこじんまりとしたものを建てるくらいの費用は、老朽化しているさくらキャンパスを改修する費用に比べれば出せるのではないのでしょうか。

また、美術館となると空調にもかなり気を付ける必要があると思いますが、老朽化した建物の中に入れてもよいのでしょうか。今から中身の改修まできちんと考えて行われるとは思いますが。

ただ、周辺にスポーツ施設があるので、活用しないと意味がないと思います。芝生の維持費も掛かりますので、活用しないといけません。

さくらキャンパスは、やはりロケーションが長所だと思いますので、複合しかやっていけないのではないかと思います。

1つの機能がダメだったら別の機能があるという風に、年間を通じて何かしら使えるのではないのでしょうか。

ランニング費用についても、完全に採算がとれなくとも、最低限の費用は賄えるくらいになればと思います。

委員

私も複合施設が良いと思います。

丸山公園のように、一か所に陸上競技場やサッカー場等の施設が揃っているところはそれほどないと思いますので、整備は必要ですが、これらを活かせるような提案ができればと思います。

また、美術館については、伊達博物館の横にというのも良いのですが、市内に散らばっていることで、逆に市内を見て回る、観光コースになるという面もあります。

いずれにしても、今あるものを活用できる複合施設が良いと思います。

委員

私も一つの機能では難しく、複合施設の方がいいと思います。

これまで、子どもも運動をしていて、各地域を回りましたが、やはり丸山公園ほど1ヶ所に集まっている施設は他になく、これを利用しない手はないと思います。ただし、施設のグレードは上げる必要はあるかと思います。野球場もすぐ水が溜まるなど、マイナス要因は多く、他の施設も含めてグレードを上げないとスポーツでは呼べないと思います。

また、スポーツだけでは通年利用はできないので、複合施設なら、例えば季節ごとに違ったものを提供することができ、利用が途切れないのではと思います。

委員

スポーツ施設はかなり手を加えないと良くはならないと思います。

当たり前の施設をやって人が来るのか、市としてどこまでグレードを挙げられるのかという話になるのではないのでしょうか。

そのあたりは期待を込めつつ複合施設として、その中にどんな機能を入れるかというところで、美術館という選択肢はすごく良いのではと、先ほどの美術館についてのご意見を聞いていて思いました。

委員

個人的には立派な美術館ができればと考えていますが、複合だとそれが欠けてしまうのではという懸念があります。

以前、金沢の美術館に行ったことがあります。そこも施設単独では採算はとれていませ

んでした。ただ、施設の方にお話を聞くと、周辺施設が潤ってきているということで、それも含めて、美術館を存続して成功であったとお話でした。

市全体のことを考えると、波及効果もあると思います。

委員

美術館があって、そこから他にも行くことで相乗効果になると思います。

何かひとつ目玉になるものを目当てに調べたり来てもらって、そこから他にもこういうものがあるというのを知ってもらって、宿泊にも繋がったりします。

スポーツ施設は、地元の人にとっては確かに便利になりますが、市外から人を呼ぶにはインパクトがないと思います。

委員長

この委員会では、多数決ではなく、皆さんの合意で決めたいと考えています。

委員

これだけ色々な提案が出ていますので、最終的に2案まで絞って出すということでも良いと思います。

地元の活性化と今の状況から考えて、ランニング費用を賄えるような交流施設という案と、単独では採算が取れないけれども、市全体を見て集客できるような施設の2案に絞りましたということでもよいのではないのでしょうか。

最終的な決定はこの委員会ではありませんので、色々な委員の方が話し合って、こういうことになったというものを出すのですから、2案でもよいのではと思います。

委員長

確かに2案を出すというのは良い考えだと思います。

例えば美術館にしても、もし美術家の方の協力が得られなかったら実現できないという面があります。

委員

個人的には、●●氏に限らなくとも、現代美術館にするという案が良いです。

委員長

施設の中に美術館があり、他の機能もありといった複合施設というものはいかがでしょうか。

委員

単独施設として、最高のものを作ってもらいたいという思いがあります。

ぜひ宇和島に来て、ここに行きたいという施設を作ってもらいたいです。

委員

美術館については、コアな人達が好きなもので人を呼ぶという方法もあります。

若い女性に人気の「刀剣乱舞」という日本刀を模したキャラクターのコンテンツがあり、刀の展示に人が集まるという現象が起きています。

実際に伊達博物館で刀の展示を行った際も、東京近郊から人が来ていましたし、少し前には愛媛県美術館も刀剣の展示を企画していましたが、コロナ禍でそれができなくなり残念がっているという声も聴きます。

全体を美術館とするにしても、こういった一定して人を呼べるイベント・企画展示を行うスペースを設けてもよいのではと思います。

委員

運営は専門家に任せることになるかと思いますが、まずは立派な美術館をつくってほしいと思います。その後の企画は色々考えられるかと思いますが。

委員

長さんに聞いてもよろしいですか。

宇和島市の状況を見たらうで、これを作れば宇和島に人が来るという提案は何かあります

	か。
長大	<p>さくらキャンパスが現状宿泊施設として機能していることから、宿泊施設としての活用をベースに考えています。</p> <p>ただ、年間を見越しての利用は難しいため、複合的利用が必要です。</p> <p>宿泊以外の機能としては、市内にサテライトオフィスが無い場合、大ホールを改修して貸出するなど定住を促進するといったことが考えられます。</p> <p>また、美術館については、他市での事例で、美術館とホテルを複合化したアートホテルというものや、新潟県では芸術で地域活性化を目指し、廃校を美術館にしたり、展示場を各地に設けてまちめぐりで活性化するということがもされています。</p> <p>いずれにしても、複合的な利用で検討を行っているところです。</p>
委員長	<p>個人的には複合的に機能を盛り込んでいく方が良いと思います。</p> <p>全体を美術館にする場合については、まず、考えて行かなければいけないのが、●●氏の承諾をいただく必要があります。</p> <p>仮に●●氏の美術館とするとして、●●氏への交渉は答申書を出した後になると思いますが、そこで断られたら他に案が無いということにもなります。</p> <p>第2案として美術館以外にこういう複合施設の案を盛り込んだり、美術館にしても全体ではなく、宿泊機能を入れたり、テレワーク、サテライトオフィスで効率的に部屋を使ってもらっても考えても良いのではないかと思います。</p> <p>企業の分室があると、企業の従業員が来て、美術を見て宿泊したり入浴したりと利用が繋がるのではと思います。</p> <p>そういった事も考慮し、複合的な利用を提案するのか、単独として美術館の提案をするのか考えていく必要があると思います。</p>
委員	私は単独の美術館が良いと思います。
委員長	委員会として多数決は行いたくないと思っています。
委員	<p>私も美術館は単独の方がよいと思います。</p> <p>サテライトオフィスがあると、仕事に行く人と観光に来た人が同じところから入っていくことになりますが、あまりそういう感覚が自分の中ありません。</p> <p>何かと複合させるなら、そこから観光で宇和島を回ってもらうために、宇和島の幸を見たり触れたりしてもらうような、PRをするのが良いと思います。</p> <p>ただ、先ほど長大さんがおっしゃった点在というのはありかと思っています。</p>
委員	専門的に美術館を巡る人だけで運営ができるのかなと思うところはあります。
委員長	<p>美術だけで来るのではなく、観光、滞在を含めて来ますので、世界的に見ても美術館の集客はすごいものがあります。</p> <p>コロナ禍でもあり、何万人もということではないでしょうが、そこは企画・立案力に掛かってくると思います。また、宇和島市に対しての文化価値というのも向上します。</p>
委員	美術館だと校舎の全体を美術館にするという考えでしょうか。
委員	今の話ではそのようになっています。

もし建替えて日本一の美術館にできるのであればそれが最高ですが。
近隣では、瀬戸内美術館は年々すごくなっていますし、●●ではまた●●氏を起用されています。そこからの観光ルートも作れるのではないのでしょうか。

委員長 先ほどから考えているのですが、答申書で2案出すことについてはどうでしょうか。
案ごとのインパクトという点では、複数案にすると1つの案については弱くなるかとも思っているのですが。

委員 先ほど少し話が出ていましたが、建替えということもありなのではないでしょうか。
それだと提案が全然変わってくると思います。

委員長 建替えについてはありません。
そもそもこの委員会自体が、今ある建物の活用を検討するという目的で作られています。
確かに博物館や美術館となると耐震性等が求められますが、美術館のみであれば、そこまでではないかと思えます。
それでも、特に全体となると色々と機材は入れる必要があるかと思えます。
なかなか今回だけで決め切るのは難しいところですが、この委員会の回数を増やすことは可能でしょうか。

事務局 この後1回は開催を予定しておりますが、それを増やすことは可能です。

委員長 一度意見を持ち帰って、10月初旬から中旬にもう一度開催しないと、答申書の素案はできないかと判断しますが、委員の皆様はいかがでしょうか。

委員 (異議なし)

委員 提案は2案で良いと思います。

委員長 2案であれば、活用方法として単独型と複合型の2つの案を出すのかどうか、なお、単独型としては、美術館になるのかもしれませんが、内容を検討する必要があります。
単独型と複合型のそれぞれのメリットはこういうものがあり、複合型ならどのような機能を入れていくかという協議ができればと思います。
あまり期間を空けることなく、10月初旬でどうでしょうか。

委員長 利活用に関して資料⑤を少し見てもらえればと思いますが、先ほどお話にあった美術館と宿泊の複合型も良いかなと考えています。
サテライトオフィスについては自家用車で来るとしますので、公共交通関係は考えなくてもよいのかなと思います。
防災センターは他にも候補地はありますし、避難場所については普段から設けておくものではないので、そのようにこの提案の中でも、これはいらないのではというものも考えていただければと思います。
スポーツ施設との連携については、文化とスポーツは関連もあるかと思えます。スポーツ関係者が来て、美術を見て、入浴して宿泊していくというようなものです。
ただ、メインテーマを何にするのかということと、テレワーク等を入れているものがあり、それだと施設としてあいまいになりインパクトが無いということもあります。
これらを踏まえて、一度持ち帰って検討していただいて、10月初旬に再度委員会を開催

	<p>するということでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>個人的には美術館の集客力、文化圏での価値というものはすごくあると感じています。例えばですが、もし●●氏が全部引き受けてくれるとなると、すごいものになると思います。文化的価値の向上や集客はもちろん、人が来ることで宿泊の増加や、教育面でも良い影響が出ると思います。</p>
委員長	<p>本日時間を少し過ぎましたが、次回までにご検討いただいて、複数提案ということになりますと思いますが、そのような形で進めて行きたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、今回は結論まで至りませんでしたが、議事(3)「さくらキャンパス利活用の検討について」を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>

議事(4)「その他」	
委員長	<p>続きまして、議事(4)「その他」に移ります。議題としては設けておりませんが、何か提案・報告・ご質問等はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>答申後、事務的にはどういう流れになるのでしょうか</p>
事務局	<p>11月頃に答申をいただいた後、議会にもご説明のうえ、購入・活用をするということになりましたら、来年度の当初予算に計上することとなります。</p> <p>ただ、いきなり設計ということではなく、まずは基本構想としてどのような施設にするのかというおおまかな指針を作り、その後に詳細な設計に入っていくこととなります。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
委員	<p>美術館については●●氏が中心になると思いますが、活用方法が決まってから●●氏に話を持ち掛けて断られるのも困りますし、内々に聞いておいてから、提案が没になってというのも失礼かと思うのですが、そのあたりの場合はどうなのでしょう。</p>
委員長	<p>お話を持って行く場合については、答申を出した後になるかと思います。</p> <p>ただ、個人的には交渉が成功するかどうかは、話を持って行く人の気持ち次第であると思っています。</p> <p>そこにしっかりとしたものがあれば、どのような形であれ成功させられる、そこが交渉をしていくうえで重要な部分であると思います。</p> <p>委員会としてもそれだけの気持ちを持って、答申書にしていく、それが市長にも伝わっていくかと思っています。</p>
委員長	<p>それでは、以上で検討を終わらせていただきますが、よろしいでしょうか。</p> <p>以上で、本日予定しておりました議事をすべて終了いたしました。これをもちまして、私の議長としての役目を終わらせていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。</p>

3. 閉会

事務局	<p>坂本委員長、ありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして、第3回さくらキャンパス活用検討委員会を閉会いたします。次回の開催日につきましては、日程が決まり次第、ご連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日は、ありがとうございました。</p>
-----	---